

Julabo Case Study

JULABO PRESTO® A40

10Lのガラス反応器で
0°Cから+100°Cに加熱



目的

本ケーススタディーは、10Lのガラス反応器で、ユラボPRESTO A40の昇温運転テストをしました。A40と10Lのガラス反応器は2.0mのメタルチューブで接続されています。A40は0°Cから+100°Cへ昇温運転するようにプログラムされています。

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz

テスト条件

ユラボ装置	PRESTO A40
冷却能力	+20°C 1.2kW
	0°C 0.9kW
	-20°C 0.6kW
加熱能力	2.7kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.4bar
循環液	ユラボサーマルHL40
反応器	10Lガラス反応器(Normag)
	10LのサーマルHL40を充填
温度制御	外部温度制御 (ICC)



テスト結果

次ページグラフ参照: A40はオーバーシュートすることなく1時間15分で0°Cから+100°Cへ昇温運転する事ができました。

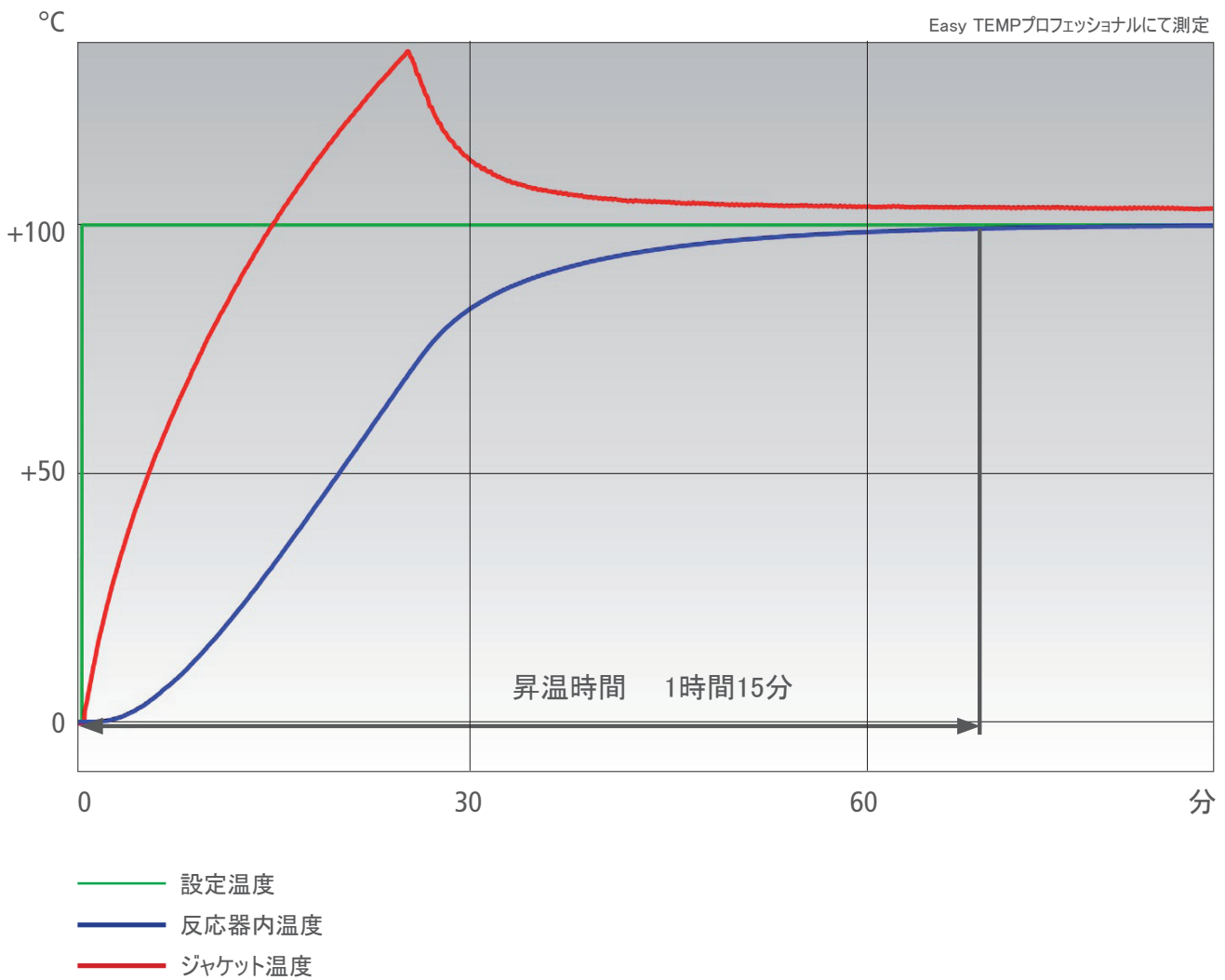
情報

PTFEコーティングされたPt100温度センサーが使用可能です。

次のページにも情報が載っています。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



情報
 ポンプ圧力を調整する為のオプション画面があります。お客様にてポンプ圧力を設定する事が可能です。

情報
 PRESTOの全ての機能をイーサネットインターフェースにて操作する事が可能です。

JULABO GmbH
 Eisenbahnstraße 45
 77960 Seelbach / Germany
 Tel. +49 (0) 7823 51-0